

里山再生モデル事業モデル地区の選定（第2回）について

平成28年12月22日
復興庁
農林水産省
環境省

1. 今般、次の6地区を里山再生モデル事業のモデル地区として選定する。

（1）相馬市（別紙1）

①地区：玉野集落周辺

②区域面積：約56haうち森林約38ha

③事業内容：しいたけ栽培等地場産業の再生等を目指し、森林内でほだ場として利用されていた場所を中心に除染を行うとともに、広葉樹林の更新等のための森林整備及び線量マップの作成を行う。

（2）二本松市（別紙2）

①地区：観音丘陵遊歩道周辺

②区域面積：約54haうち森林約23ha

③事業内容：市の中心部に位置する観音丘陵遊歩道周辺の森林について、市民の休養の場としての利用を促進するため、同遊歩道の除染、間伐等の森林整備及び線量マップの作成を行う。

（3）伊達市（別紙3）

①地区：雨乞山

②区域面積：約95haうち森林約76ha

③事業内容：神社への参拝や散策などの場として地域で大切にされていた雨乞山の利用を促進するため、自然道周辺の除染、間伐等の森林整備及び線量マップの作成を行う。

（4）富岡町（別紙4）

①地区：グリーンフィールド富岡周辺

②区域面積：約108haうち森林約72ha

③事業内容：町の中心部に位置する野外活動拠点周辺の森林について、住民の散策の場等としての利用を再開させるため、森林内の遊歩道等の除染、枯損木の伐採や間伐等の森林整備及び線量マップの作成を行う。

(5) 浪江町 (別紙5)

①地区：立野地区

②区域面積：約258haうち森林約204ha

③事業内容：木材生産の場として活用されてきた立野地区の森林について、森林整備の再開を目指し、森林に隣接する住居等周辺の除染、間伐等の森林整備及び線量マップの作成を行う。

(6) 飯舘村 (別紙6)

①地区：村民の森あいの沢周辺

②区域面積：約87haうち森林約72ha

③事業内容：村民や施設利用者の憩いの場として利用されてきた自然公園「村民の森あいの沢」について、周辺地域の利用を促進するため、施設周辺の森林内の遊歩道等の除染、間伐等の森林整備及び線量マップの作成を行う。

2. 本年9月及び今回選定したモデル地区以外の選定については、引き続き市町村と調整を行い、整ったところから順次追加選定していく。

＜モデル地区の位置＞

伊達市：雨乞山



相馬市：玉野集落周辺



飯館村：
村民の森あいの沢周辺



二本松市：
観音丘陵遊歩道周辺



浪江町：立野地区

富岡町：グリーンフィールド富岡周辺

